

新社会

発行所：新社会党
〒101-0051 東京都千代田区神保町2-10 三辰工業ビル3F
TEL 03 (6380) 9960 FAX 03 (6380) 9963
振替 00140-0-149727 1ヵ月600円 郵送料 1ヵ月164円

新社会千葉

2020年11月 217号

発行：新社会党千葉県本部

千葉市中央区新田町7-5 石出ビル3F
TEL 043-244-6865 FAX 043-244-6864
E-mail:sinsya@lily.ocn.ne.jp
HP URL:http://sinsya.webcrow.jp/

千葉市美浜区磯部にある海浜病院の移転問題が話題になって久しい。総合病院の存在は誰もが関心をもっていきます。そこで「市民の千葉をつくる会」(新社会党とも友好関係にある市民団体)は10月15日に、千葉市議会議員の松井佳代子さん(市民ネットワークちば)を招いて勉強会を行いました。

冒頭松井さんは「市民の皆さんがどのようなことに関心を持って



新社会党千葉県本部は10月31日に習志野市内で第26回定期大会を開きました。

冒頭、石井俊雄委員長は「今や、地球規模で格差と貧困がとてつもなく拡がっている。非正規で働く人が2186万人、一方大企業の内部留保は500兆円ともいわれている。安倍政治を継承する菅政権も退陣させなければならぬ。私たちは、なかなか攻勢にできることができない

党千葉県本部が定期大会開く 市民と野党の統一候補を擁立し 解散総選挙、統一自治体選挙で勝利を

いであるが、そのなかでもがんばって成果をあげている仲間たちもいる。また、この一年で党勢拡大の『中期方針』をつくりあげた。今大会の討論を通じて、来る総選挙や自治体選挙で具体的に運動を前進させよう」となどあいさつしました。

続いて、コロナ禍の状況下にもかかわらずかけつけていただいた、党中央本部千葉雄也総務局長、憲法を動かす会・千葉県協議会

廣瀬理夫共同世話人、在日本朝鮮人総連合会千葉県本部の呉泳哲委員長から連帯のあいさつをいただきました。

各総支部から活動報告や意見

大会は、世界的にも資本主義経済の危機的な状況を受けた政治の反動化と大衆の意識の右傾化などによる民主勢力の後退のなか、これ以上の後退は許されないという機運を反映する厳しい討論が行われ

千葉市立海浜病院が移転 2025年度の開院めざす 市民の千葉をつくる会が勉強会

現在の海浜病院は幕張総合高校近くに移転予定

葉市立病院再整備基本構想」、2021年9月に「海浜病院の基本設計」を創ることにな



り、2025年度開院を目指しています。

それによると、移転先は幕張新都心の若葉住宅地区で、幕張総合高校や湾岸千葉ICが近くにあり、いずれは隣に小学校が建てられるという。病床が293床から380、400床に増える。その代わりに市立青葉病院の病床が369から330に減少する。診療科が増え、救急医療の強化など、役割分担を明確にする。

れました。

■ブロック会議の充実
は事前方針が大切。各委員会も同様に共有できる議論を。

■今、竹中平蔵も加わる
政権ベリシックインカム論があり議論は緊急課題だ。

■木更津米軍基地は今も昔も日米で、重要戦略上基地にしている。最初からオスプレイ基地に狙われていた。

■財政と党勢の拡大が課題だ。身近な問題をチラシ等で訴える。周期性を持ってアピールすることが大切。

■労働運動から仲間が育ってきた。現在ではユニオン活動で地区労

参加者から多くの意見

その後参加者から多くの意見や質問が出されました。

●病院は小さくないでほしい●病院はなんで赤字経営になるのか●都市部には病院がたくさんあるのに地方には少ない●公立病院は儲かるか儲からないか●判断すべきでない●公民館や図書館の委託化が問題になっている。病院も委託されるので

の中心になっている。

■市民要求をどう展開するか課題だ。農業についても官邸主導を換えるために市民と共有した街頭宣伝等を進めている。

■地域で憲法を生かす会を取り組んでいる。独自のニュースを発行している。仲間が諸集會にも参加してくれている。この経験が活力になっている。

■コロナ禍で職場に組合がないと労働者は放り出される。ユニオンを結成しよう。等々意見が出されました。

これらの発言に対して鳩川静書記長が「活発な討論ができた。大

はないかとの心配がある●1時間待って3分の治療というケースが多々ある。最近では医師との問診の時間が少なくなっていて、医師はデータばかり見ている●高齢者の医療費が増えている。75歳になって1割負担から2割、3割になっている●コロナで老人は死んでもいいと思っているのではないか。

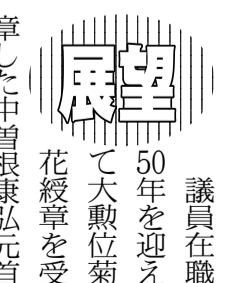
約2時間の勉強会は活発な意見交換がされました。【菅原

衆と密着した運動の行動から成果の報告があった。地域に根ざした運動なしに自治体議員づくりはできない。指導責任のあり方も指摘された。集中的に委員会を徹底したい。課題を実践の中で克服したい。自治体の課題を受け流さず、受け止める。市民に発信できることの必要性を自覚する。自公政権の格差社会にストップをかける。今こそ市民と野党の共闘で政権交代を実現しよう」とまとめました。最後に、石井俊雄委員長以下役員の全員が再選され、大会は終了しました。

は遠のくばかりだ。

新自由主義が同居し、それが長期政権の秘訣だった▼中曽根政治は安倍政権を経て、菅政権に継承された。この流れで起きたのが日本学術会議事件である。学問弾圧史に新たな歴史を刻んだ。科学に欠かせない批判精神を委縮させて、ノーベル賞

議員在職50年を迎えて大勲位菊花綬章を受章した中曽根康弘元首相の内閣・自民党合同葬が行われた。参列者は予想を下回り、盟友の渡辺恒雄・読売新聞主筆が「大宰相」と追悼したわりに国民的人気はなかった▼あるはずがない。元首相は国民の過半を占める労働者の敵であったからだ。国鉄の分割・民営化や電電と専売の民営化を断行し、家族を含め数十万人の生活を脅かした罪は重い▼元首相は「体の中には国家がある」と語っていた。真正の国家主義者だった。藩閥の手になる明治憲法でも、マッカーサー憲法でもなく自主憲法制定が悲願だった。一身に国家主義と





陰湿な菅政権の本質を暴こう 憲法を尊重した日本に

憲法を活かす会・千葉県協議会が総会と講演会

憲法を活かす会・千葉県協議会は10月11日、千葉県教育会館で第18回定期総会を開きました。会場には消毒スプレーや検温器が用意され、席も隣を空けるなど、コロナ感染防止の対策を取った開催となりました。

最初に、主催者を代表して共同世話人の廣瀬理夫弁護士から「昨年は安倍政権打倒、憲法の精神を尊重した日本にしよう」と確認した。ところが8月に安倍首相が突然辞任し、菅政権が誕生した。しかし菅政権は安倍政権を継承すると表明し、むしろ、より陰湿なやりかたは安倍以上のもの。菅政権の本質を暴こう。そして憲法を活かす会の活動をより強固なものにしよう」と訴えました。

来賓として参加した新社会党千葉県本部・石井俊雄委員長は「菅政権の政策は自助・共助・公助。政治が真っ先に行わなければならない公助が最も重要な提案。山武・長生地区、木更津地区から活動報告があり、新年度役員を確認して総会を終了しました。」

第2部は、菱山南帆子さんが「改憲発議を止める！市民の底力を」のテーマで約90分間にわたり講演をされました。



菱山南帆子さん講演(要旨) 持続可能な社会運動で 若い人たちにつなげよう

でやるとか最大限の配慮をしながら、私たちは毎月「19の日」に国会前で抗議行動を続けてきた。工夫をし、正しく恐れながら運動してきた。

私の職場の仲間は、コロナのおかげで私の活動を理解してくれました。特に障がい者施設、老人施設、福祉の問題では、「マスク2枚でどうすんだよ」「もっとPCR検査しろよ」「医療で働く人にボーナスが払われないのはナスが払われないのか」

集まりたくても集まらない。大きな声も出せない。安倍政権を倒さなければいけないし、本当につらい日々が続いた。でも1時間やる集会は30分にするとか、デモはコール無し

菱山さんは福祉施設で働ながら、毎月行われる「国会19日抗議行動」や「9条改憲NO! ウイメンズアクション」などで、先頭に立って活動されており、テレビ中継でもおなじみ。また、著書「嵐を呼ぶ少女とよばれて」市民運動という生きかたを出している32歳の女性です。

後にある国民に責任を押し付けるもので、理論が逆だ。学術会議への介入の問題や機密保護法・共謀罪の問題もある。政党と市民運動の協力体制の強化が大切だ」と強調しました。

この時季、あらゆる落葉樹は葉を落とす。筆者の住む団地の広場や舗装路も毎朝落葉掃きに追われる。さて、掲句の場所は「落葉山」。落葉に埋もれている「お山」である。でもそんな高い山ではない。いわゆる里山である。たっぷりのやわらかな日差しに包まれる里山。そんな里山に流れるオカリナの音色。何故か懐かしさを憶える音色と初冬の落葉山である。

俳句 ~四季へのいざない~

オカリナを吹く子落葉のお山かな 水明

人が悪いのではなく、無関心な人たちがつくるシステムになっていたんだということが分かった。

今、町中に生活が苦しい人がたくさんいるのに私たちが繋がれないでいる。そういう人たちに寄り添い声をかけていくことが今わたしたちに求められている。若い人に「あなたたち戦争に行くことになるよ」といっても響かない。それよりも「ブ

ネットの活用
今後は必要

最近、インターネットが普及しているが、年配の人は苦手。でも、これからは、運動を広げるために新しいスキルを活用する必要があら。また、街頭宣伝などでも、「こうすべきだ」という押しつけ型でなく、相手に寄り添うように語り掛けるなど、若者にどう呼びかけるかもこれからの課題ではないか。

ゴーストライター

菅官房長官は会見後に激怒し、しばらくは番記者の取材に応じなくなるといった。出版した本がゴーストライターの書いたことがバレバレになってしまったのと、書いたこととやっていることの矛盾があらさまにされてしまったのだ。

菅官房長官の出版した本に書かれている。いなかかわりますか」と尋ねたら、菅官房長官は「知りません」と答えたという。質問した記者は「2012年に菅官房長官の出版した本に書かれている。いなかかわりますか」と尋ねたら、菅官房長官は「知りません」と答えたという。質問した記者は「2012年に菅官房長官の出版した本に書かれている。いなかかわりますか」と尋ねたら、菅官房長官は「知りません」と答えたという。

この話にはおまけがあつて、菅首相は当時のインタビューに關した内容を追加した改訂版を出したというが、「公文書の管理の重要性」の章は削除されているという。

菅原

